

プロトコール名		1クールの日数	放射線治療
多発性骨髄腫 DaraVMP療法 (C1)		42日	■なし □あり
投与日	薬品名 (※赤字は抗がん薬)		
d1,8,22,29	① ソル・コーテフ注射用200mg+生理食塩水50mL ② 生理食塩水「ヒカリ」50ml(フラッシュ用) ③ ダラザレックス点滴静注 16mg/kg +生理食塩水* 投与1時間前までに、カロナール400mg,d-クロルフェニラミン酸塩徐放錠6mg、 レナデックス20mgを内服する。 0.2μmのインラインフィルターを使用する。 調製後15時間以内に投与終了。 ④ 生理食塩水「ヒカリ」50ml(フラッシュ用) ⑤ ベルケイド注射用 1.3mg/m ² + 生理食塩液 0.52mL/m ² ベルケイド1Vを生食1.2mLで溶解。 生食溶解後の濃度は2.5mg/mL。 投与の際は、同一コース内での同じ部位への皮下注射は避け、 投与部位をローテーションする。 (右腹部→左腹部→右上腕→左上腕→右大腿→左大腿など)		
d4,11,25,32	① ベルケイド注射用 1.3mg/m ² + 生理食塩液 0.52mL/m ² ベルケイド1Vを生食1.2mLで溶解。 生食溶解後の濃度は2.5mg/mL。 投与の際は、同一コース内での同じ部位への皮下注射は避け、 投与部位をローテーションする。 (右腹部→左腹部→右上腕→左上腕→右大腿→左大腿など)		
d15,d36	① ソル・コーテフ注射用200mg+生理食塩水50mL ② 生理食塩水「ヒカリ」50ml(フラッシュ用) ③ ダラザレックス点滴静注 16mg/kg +生理食塩水* 投与1時間前までに、カロナール400mg,d-クロルフェニラミン酸塩徐放錠6mg、 レナデックス20mgを内服する。 0.2μmのインラインフィルターを使用する。 調製後15時間以内に投与終了。 ④ 生理食塩水「ヒカリ」50ml(フラッシュ用)		
d1,8,15,22,29,36	カロナール錠200mg 400 mg+d-クロルフェニラミン酸塩徐放錠6mg「武田テバ」6 mg+レナデックス錠4mg 20 mg トラザレックス投与1時間前までに内服。		
d1,2,3,4	アルケラン 9mg/m ² 1日1回		
d2,3,4	プレドニン 60mg/m ² 1日1回		
	* ダラザレックスの希釈・投与速度について: 生理食塩液を用いて希釈後の総量を1,000mLとし、50mL/時の投与速度で点滴静注を開始。Infusion reactionが認められなかった場合には、患者の状態を観察しながら希釈後の総量及び投与速度を以下のように変更することができる。ただし、投与速度の上限は200mL/時とする。 本剤の希釈後の総量及び投与速度 ①初回投与 希釈後の総量:1,000mL 投与開始からの投与速度(mL/時) 0~1時間:50 1~2時間:100 2~3時間:150 3時間以降:200 ②2回目投与 希釈後の総量:500mL※1 投与開始からの投与速度(mL/時) 0~1時間:50 1~2時間:100 2~3時間:150 3時間以降:200 ③3回目投与以降 希釈後の総量:500mL 投与開始からの投与速度(mL/時) 0~1時間:100※2 1~2時間:150 2~3時間:200 3時間以降:200 ※1:初回投与開始から3時間以内にinfusion reactionが認められなかった場合、500mLとすることができる。 ※2:初回及び2回目投与時に最終速度が100mL/時以上でinfusion reactionが認められなかった場合、100mL/時から開始することができる。		
コメント	ダラザレックス投与1時間前までにレナデックス20mg+d-クロルフェニラミン酸塩徐放錠6mg+カロナール400mg内服する。 d1-4にアルケラン9mg/m ² を内服、d2-4にプレドニン60mg/m ² を内服する。		
プロトコールに関する解説			
プロトコールに関する解説はありません。			